

# MRI 検査予約票

様 検査は 月 日 ( 曜日 ) 時 分からです。

30分前には来院し受付を済ませてください。

(救急等により検査開始時間が遅れる場合もございますのでご了承ください。)

## 【 MRI 検査のご説明 】

- MRI 検査とは強力な磁石を使って身体のあらゆる角度の断面を撮影する検査です。
- 検査時間は検査する内容により異なりますが、通常20分～60分程度です。
- より精密に調べるために薬剤（造影剤）を使用した検査を行う場合もあります。

## 【 MRI 検査での注意事項 】

- 心臓ペースメーカー埋め込み、人工内耳や心臓人工機械弁などの手術をされている方は安全のため検査は出来ません。また閉所恐怖症で不安がある方は検査前に申し出てください。
- 検査中は大きな音がしますので、耳栓あるいは音楽が流れるヘッドホンを使用いたします。
- 服用中のお薬がある方は、通常通りお飲みください。(検査により食事制限がある場合もあります。)
- 検査室内への携帯電話、財布、鍵等の持込みは出来ませんのでロッカーにてお預かりします。また、補聴器、アクセサリ、エレキバン、入れ歯等の金属類は画像に影響しますので外していただきます。
- 刺青等がある方は火傷や変色の可能性がありますので医師に申し出てください。
- 現在、妊娠あるいは妊娠の可能性のある方は申し出てください。

【 安全に検査を受けていただくために、下記項目のチェックおよび記入を宜しくお願いします。 】

狭い場所が苦手あるいは息苦しさを感じたことがある。	有・無	有の場合、検査が出来ない場合もあります。	
心臓ペースメーカーや人工内耳、脳動脈瘤クリップ等の手術をしたことがある。	有・無	有の場合、検査を中止する場合もあります。	
上記以外の手術をしたことがある。 いつ頃( ) どの様な手術ですか( )	有・無	有の場合、検査を中止する場合もあります。	
入れ歯や歯のインプラントがある。(取り外し可能なもの)	有・無	有の場合、安全性のため外していただきます。	
造影検査の場合には お答えください。	花粉症又はぜんそくがある。	有・無	有の場合、造影検査は中止する場合もあります。
	アレルギー性の病気や体質がある。	有・無	有の場合、造影検査は中止する場合もあります。

## 検査当日の流れ

### 1 受付 検査時間の30分前に受付

- 保険証、診療情報提供書、予約票(この用紙)を確認いたします。  
(検査説明書は持参しなくてよいです。)

### 2 診察

- 検査前に医師より検査の説明をいたします。

### 3 放射線科

- 検査のための問診を確認いたします。
- 造影検査時は同意書の確認もいたします。

### 4 検査開始

- 検査着に着替えていただく場合もあります。

### 5 検査終了

- 会計を行うために受付へご案内いたします。

### 6 会計

- 画像データ(CD,DVD)をお渡しいたしますので、紹介元の病院での診察日に持参しお渡しください。  
基本的に報告書は、紹介元の病院に郵送いたします。(到着まで、1週間から10日前後掛かります。)

予約あるいは受付方法など、何かご質問がありましたら地域連携室までご連絡ください。

また、検査内容についてのご質問は画像診断検査センターまでご連絡ください。

昭南病院 地域連携室 099-482-0623 (直通ダイヤル)

画像診断検査センター 099-482-0622 (内線135)



# MR I 検査説明書

## 【MR I 検査をお受けになる患者さんへ】

MR I 検査とは、磁気と電波を利用し、あらゆる断面の画像を得ることができる検査です。MR I 装置には強力な磁石が搭載されているため、MR I 室内に金属類を持ち込むと、装置に引き付けられて飛んでいたり、画像が歪んだり、患者さん自身にも危害が及ぶことがありますので、この注意事項をお読みになり、検査の前に今一度、ご確認ください。



### ■■ MR I 検査を受けることができない方 ■■

次に該当する方は、MR I 検査を受けることができません。

- 心臓ペースメーカーや刺激電極などがある方
- 人工内耳など電氣的、磁氣的、機械的に動作する物が体内にある方
- 体内に 20～30 年以上前の手術により金属（脳動脈瘤クリップなど）がある方  
(MR I 検査が可能か手術を受けた病院への確認が必要です。)

### ■■ 検査を受ける際に注意が必要な方 ■■

下記に該当する方は、画像への影響や安全面から検査を受けられない場合もありますので、予約の際に必ず主治医にお伝えください。

- 脳出血や脳動脈瘤あるいは VP（脳室－腹腔）シャント術などの頭の手術をされた方
- 股関節や膝などに人工関節あるいは椎体（腰椎など）にボルト固定の手術をされた方
- 血管や消化管などにステントを留置している。あるいは血管内フィルター術をされている方
- 歯のインプラント術をされている方

また、妊婦あるいは妊娠している可能性のある方や閉所恐怖症の方も検査を行えない場合がありますので、主治医にあらかじめご相談下さい。

### ■■ MRI 検査を受ける前の準備 ■■

基本的に検査前の食事制限はありませんが、お腹の検査や造影剤を使用する検査などでは食事や水分を控えて頂くことがあります。その際には、ご説明いたします。

次のものは、故障したり、画像に悪影響を及ぼすため、検査前に取り外していただき鍵付きのロッカーなどにてお預かり致します。また、必要があれば検査着に着替えていただく場合もあります。

- 補聴器（耳あな型、耳かけ型など）、取り外し可能な義歯
- 携帯電話、時計、メガネ、ライター、ヘアピン、鍵、ベルト、アクセサリ
- 財布、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード
- カイロ、エレキバン、カラーコンタクト、金属が付いている下着
- 義足などの装具、コルセットなど、その他の金属を使用しているもの



※ ニコチンパッチ（禁煙のお薬）や、ニトロダームパッチ（心臓のお薬）を貼っている方は、火傷を起こす可能性がありますので、検査前に外していただきます。また、化粧品や刺青などについても、成分に金属を含んでいるものがあり、火傷をする恐れがありますので、ご注意ください。

### ■■ 検査開始、検査中について ■■

- 検査時間は、検査室に入ってから出るまで、20分～60分程度です。（部位により異なります。）
- 検査中は、体の力を抜いてリラックスし、出来るだけ体を動かさないでください。
- 検査開始より連続的にトントントンという音がします。また、途中で音が変わることがあります。

【MR I 検査の場合には、この説明書を患者さんにお渡しください。】

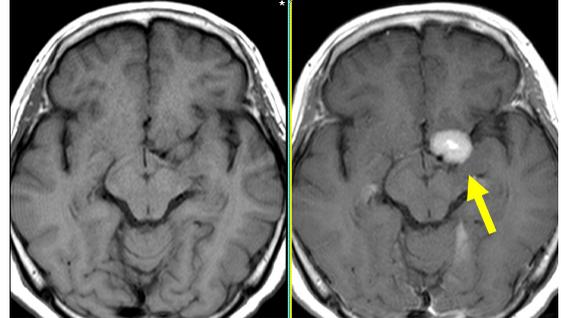
# 造影MRI 検査説明書

## 【造影MRI 検査をお受けになる患者さんへ】

造影MRI 検査を受けられる方には、アレルギー等に関する問診と以下の説明文及び医師による説明をご理解した上で造影検査を受けるための同意書へのご署名をお願いしております。なお、同意書に記入された後に造影剤の使用を拒否されてもかまいませんので、そのときは申し出ください。

### 造影MRI 線検査とは

造影 MRI 線検査とは、約 15cc 前後（体重や目的により量は変更されます。）のガドリニウムを含む検査薬（造影剤）を血管内に注射しながら行うMRI 検査です。造影剤を使用する事により、血管の走行状態や臓器の血流状態、病変の大きさなどがわかり診断に大変役立ちます。



右：造影剤なし 左：造影剤あり  
黄色矢印：脳内にある腫瘍

### 検査前の食事について

検査前の3時間は食事をとらないようにしてください。

ただし、水分は可能ですが胆のう検査の場合には制限がありますので医師にご確認ください。

### 造影剤の副作用について

MRI 検査用の造影剤は安全な薬剤ですが、全く危険性を無くすことはできていません。軽微な副作用を含めると、約1%以下（100人に1人以下の割合）で何らかの副作用が生じるといわれています。

- 造影剤の注射中に体全体が熱く感じるがありますが、数分で治まり心配ありません。
- 軽い副作用（頻度は1% 以下）  
吐気、嘔吐、頭痛、めまい、蕁麻疹、発疹、かゆみ、手足のむくみ、発熱、せき、など
- 重い副作用（頻度は0.05% 以下）  
ショックやアナフィラキシー様反応（例えば呼吸困難や血圧低下など）が生じることがあります。また、極めてまれですが他の通常の薬剤と同じように副作用により死亡に至った例も報告（0.0001%以下）されています。
- 造影検査では、造影剤の効果を高めるために急速に体内に注入しますので血管に圧力がかかり血管の外に造影剤が漏れてしまい腫れ、痛みなどを生じてしまう方もおられますが、多くは時間が経てば自然と吸収され腫れや痛みも治まります。

今までに造影剤検査において副作用を起こしたことがある方、ぜんそく、花粉症などの疾患やお薬、食べ物等にアレルギーがある方や腎臓の機能が極端にわるい方は副作用が生じる可能性が比較的高いため造影剤を使用した検査は中止される場合もあります。

### 副作用への対応について

問診の内容や患者様の状態により副作用を起こし難くする薬（ステロイドや点滴等）を注射するなどの処置をして副作用の発生リスクを極力抑えてから検査を行うこともあります。また、造影検査中は安全のために放射線科の技師あるいは医師や看護師が常に待機しており副作用が発生してしまった場合でも注射や点滴など症状に合わせた処置を迅速に行なえるように万全の体制を整えておりますのでご安心ください。

### 造影検査での注意事項

- 造影剤は尿から排泄されますので検査後は、水、お茶などの水分をいつもより多く飲んでください。
- まれに造影検査が終わり数日たってから、じんましん、むくみ、血圧低下などの症状が現れることがあります。その際は昭南病院にご連絡ください。
- 造影剤は母乳中に移行しますので、造影剤注射後24時間は授乳を控えてください。

【 造影MRI 検査の場合には、この説明書を患者さんにお渡しください。 】